



事務事業名	普通河川（水路）管理業務	事務事業No.	40102000965	所属課	建設課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	普通河川（水路）の維持管理は、法定外公共物として平成16年度以前においては、市町村が機能管理を国が財産管理を行っていた。平成 年に行われ、市町村に財産として移譲されると、機能管理、財産管理ともに市町村で行うことになった。河川数の多さや財政事情により、全ての要望への対応は困難であり、今後、計画的な改築や修繕を行う場合に緊急度や重要度を加味した選択が必要となる。最近増えているゲリラ豪雨などにより、改修の陳情・要望件数が増えている。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	各地区の区長から、補修・改修の陳情・要望が絶えない。洪水などの災害の発生防止、河川環境の整備と保全、流水の正常な機能維持などが求められている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目		
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 普通河川・水路管理者として適正管理が必要であり、結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 普通河川及び水路の管理責任は市であることから、市が関与することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 適正に管理していくには、改修工事や浚渫工事の箇所を増やす必要があるが、財政都合上現状では難しい。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 河川（水路）の適正管理が出来ない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない ほかに類似事業は無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 補修工事、浚渫工事など、対応箇所は多数のため削減することはできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域が対象であり、公平に対応している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度は、改修工事、補修工事、浚渫工事を行った。要望も含め対応すべき箇所は多数であるが、予算上難しい。緊急な対応が必要になることや、浚渫工事など広範囲に対応しないと効果がないなど、適正な管理を継続していくためには予算の増額が望ましい。パトロールを通じ現況を把握し、将来にわたっての全体的な検討が必要である。																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td>×</td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上		○	維持		×	低下		×
コスト																		
	削減	維持	増加															
成果	向上		○															
	維持		×															
	低下		×															
河川（水路）の既存構造物の現況把握、浚渫が必要な頻度・周期などの検討。将来にわたって適正管理や必要に応じた改修を行うために必要になるコストを事前に把握検討していく必要がある。	(6) 事務事業優先度評価結果																	
	成果優先度評価結果																	
	コスト削減優先度評価結果																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>